



# りんご・もも部会特報

平成 29 年 5 月 19 日  
J A 中野市りんご・もも部会  
No.4 J A 中野市園芸課

果樹類の満開期は昨年より 7～10 日遅れの到達となりました。開花期間中は大きな低温被害もなく、結実も確定してきました。今後は果実肥大や品質程度をよく確認し、仕上げ摘果に入ってください。

昨年に続き春の強風日が多く、ももせん孔細菌病の感染拡大が心配されます。現地では病気の源となるスプリングキャンカーが多々散見されます。多発地帯では梅雨明けまでは重要防除期間です。一定の間隔で薬剤散布を進めてください。また、昨年北部地帯で多発したりんご黒星病ですが、現状では葉や果実への感染はありません。ただし、5 月後半の降雨等で果実感染へ発展する可能性もありますので 6 月上旬まで注意して薬剤散布を進めてください。

## りんご薬剤摘果について (参考)

予備摘果の省力を含めて、ふじを中心に薬剤摘果が利用できます。散布適期が限られていますが、下記を参考にしてください。

### 1. 使用薬剤

- 結実状況を十分に確認してください。
- 極端に着果量が不足している場合は薬剤摘果は行わないようにしてください。
- 効果発現を高めるため、基本的には単剤で散布してください。

水	100 <small>リットル</small>	500 <small>リットル</small>	600 <small>リットル</small>	1,000 <small>リットル</small>
アプローチ B I (333 倍)	300ml	1500ml	1800ml	3000ml
Ⓔ ミクロデナポン水和剤 (1200 倍)	83g	415g	498g	830g

### 注意事項

- ① 展着剤アプローチ BI に代えて、ニーズ 1000 倍でもよい。
- ② ミクロデナポン (水) は果皮、果柄や果台から発生した新梢 (葉) から多く吸収される。よって、果実及び花そう葉に十分かかるように散布する。
- ③ 散布量が少ないと効果が落ちる場合があるので、多めに設定する。
- ④ 結実が悪い園、毎年生理落果の多い樹や園、極端に樹勢が弱い樹、強い樹は散布しない
- ⑤ 焼酎 (20%) 1000 倍加用すると効果があがる。
- ⑥ ミクロデナポン水和剤は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。

### 2. 散布時期

- ① 目通り中心果の横径が 10～12mm 程度の時。(測定位置：目通りの高さ)
- ② ふじは生理落果の少ない品種なので最も落果の多くなるタイミングで散布する。
- ③ この時期の果実は 0.5～0.7mm 程度 1 日肥大する。(10 日間で約 5 mm～7mm 伸びる)

◆ 南部地区：満開日 5/3～4 頃 ⇒ 散布時期目安 5/17～20

◆ 平岡地区：満開日 5/4～5 頃 ⇒ 散布時期目安 5/18～21

◆ 北部地区：満開日 5/6～7 頃 ⇒ 散布時期目安 5/20～23

ももせん孔細菌病防除対策については次頁をご覧ください。

**せん孔細菌病は、降雨とともに葉・果実への感染が広がります。  
春型枝病斑の除去を徹底しましょう！！**

◆ せん孔病多発園では、樹上かん水(畑灌)は可能な範囲で止めましょう

☆ せん孔病多発生園では、下記を参考に被害を最小限に抑えましょう

**① 春型枝病斑を除去する（伝染源を少しでも減らす）**

\* 枝病斑を全て除去すると結果枝が不足してしまう場合は、先枯れ症状を中心に切除して、結果枝を確保する。



春型枝病斑



**葉病斑**  
赤褐色の斑点を生じ、後に葉に穴が空く

**春型枝病斑**  
紫褐色。陥没。亀裂を生じる。葉病斑の周辺に散見。樹液が出る場合もある。

**② 薬剤の散布間隔は10日以内とする（予防散布を継続する）**

\* 薬剤散布による防除（殺菌剤）は、あくまでも予防です。感染した後の治療効果は期待できません。降雨前の予防散布を徹底してください。（もも特報参照）

**③ 農薬の散布は、「ゆっくりと丁寧にたっぷり」**

\* 必要以上に風圧を上げず、樹冠に十分かかる量を散布する。

**④ 早期に袋掛けを実施する（降雨による果実感染を防止する）**

\* せん孔細菌病多発が心配される園地では、果実感染防止のため、薬剤散布実施後、なるべく早く袋掛けを実施してください。ただし、黄金桃・ネクタリン等で7月に生理落果が発生する品種は着果量をやや多めに残して袋掛けを実施してください。



果実病斑

**もも現地講習会（せん孔細菌病対策など）の開催について**

短時間で終了する予定です。皆様のご参加をお待ちしております

日時	集合時間	場所
5月25日（木）	午前11時	平岡共選所
	午後2時	南部共選所

内容 ①せん孔細菌病 春型枝病斑（スプリングキャンカー）の見分け方、除去について  
 ②薬剤散布による防除、防風対策（ネット等の設置）について  
 ③二重袋の紹介  
 \* 講習会にお越しいただいた皆様に、二重袋のサンプル（3種類）を用意しております

以上